

会長挨拶

水曜会会长

富田隆造



皆様こんにちは

水曜会員各位におかれましては益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、この度第4代水曜会会长を引継ぎました昭和41年篠原研を卒業致しました富田隆造でござります。適任の諸先輩多数いらっしゃる中、大変な任務を仰せつかりまして、又、一段と責任の重さを痛感している次第です。

当会も昭和48年10月創立され24年の歳月を経ており、第1回卒業の宮崎先輩より数えへ1954年卒現在まで43年間の卒業生がいて、大変層の厚い組織となつて来ております。

先日、前清水会長のもと新改訂会員名簿が前役員の方々のご尽力により発刊されました。それによりますと現在までの会員

数は800余名となつております。水曜会会則の目的にもあります。すように会の主旨は「会員及び会友相互の親睦向上を計り相互の連絡を密接にする」とあります。

前会長より、会の若返りを計る様継承されまして、そのつなぎ役として会長を引き受けさせ

て頂きました。この主旨を踏まえて理事役員には各年代ごとに

3つ目は、研究会実行委員会で、交流を通じアカデミックな

ことも行う目的で、見学会、勉

強会、講演会等を企画し実行し

て行きたいと思っております。

最後の4つ目は、本来の目的である親睦会実行委員会です。楽

しみながら親睦、交流を計つて

いくことで、すでにゴルフコンペなどを実行し計画を進めてい

るところであります。

ザインの一考察を行います。

近年は開催時期を10月下旬頃としていましたが、水曜会の事業を行うための組織作り並びに事業の企画、計画及び実施に、ある程度の期間が必要なことから、本年度の総会・講演会・懇親会は下記のとおり開催することとなりました。

また今回は、専任講師に昇格されました加治屋亮一先生のお祝いも兼ねております。

お手元の会員名簿には、卒業研究を協力してまとめあげた大切な仲間や、ひとつの机を囲んでゼミナールを学んだ親しかった懐かしい同期生の名前や最新の連絡先が載っています。水曜

会運営を明確化し、実行していくために、4つの運営実行委員会を設けました。

その1つが会則改訂委員会で、

現在の会則は1973年制定で

あり、時代の変化に伴い多少見直しを行なつたらどうかという

事で、その基礎固めを行うこと

にいたしました。2つ目は、会報

を発行し、会員の情報交換連絡の場として行き、また、未微

収となつていた会費収集の源となす様に思つています。

3つ目は、研究会実行委員会で、交流を通じアカデミックな

ことも行う目的で、見学会、勉

強会、講演会等を企画し実行し

て行きたいと思っております。

1997年度総会・講演会

・懇親会開催のお知らせ

1998年1月14日(水)開催

会の懇親会に引き続いての同期会などはいかがでしょうか。

皆様、お誘い合わせのうえ、ふるってご参加下さいようご案内申し上げます。

◆日 時
1998年1月14日(水)

○総 会

17時30分～17時50分

○講演会

17時50分～18時30分加治屋先生に「設備デザインに関する考察」と題した講演をいただく予定です。

○懇親会

18時30分～20時

◆場 所

明治大学 大学会館

5階 父母センター会議室

(ただし、総会講演会は、6階
校友センター会議室)

所在地 千代田区神田駿河台

1の1 (新築中校舎の北隣)

◆会 費 (懇親会)

会員・会友 7000円

学生会員 2000円

◆問合せ 事務局長 森下剛

(明治大学 施設課)

☎3296-4516

総会・講演会・懇親会の出欠につきましては、同封のはがきにてご連絡ください。

明治大学 水曜会会報 創刊号

1998年1月発行
明治大学水曜会 044-934-7381

新役員紹介

任期: 1997年4月~1999年3月

役職	氏名	勤務先	卒業年	研究室
名誉会長	松尾陽	明治大学		
顧問	坂上恭助	明治大学	1974	篠原
	加治屋亮一	明治大学		
	北島敬郎	エース設計事務所	1956	篠原
	佐藤善昭	横河建築設計事務所	1957	篠原
	清水正巳	エース設計事務所	1961	篠原
会長	富田隆造	石本建築事務所	1966	篠原
副会長	五十嵐信継	松田平田	1968	篠原
	須藤俊彦	新菱冷熱工業	1975	貝塚
理事	沼田利夫	川本工業	1958	篠原
	平本達郎	ダイダン	1963	篠原
	高地進	都立小石川工業高校	1963	篠原
	横田輝正	横河建築設計事務所	1964	篠原
	平川清	ピーエーシー	1966	篠原
	高木延浩		1967	篠原
	嘉治憲夫	鹿島	1971	篠原
	尾崎幸平	尾崎建設	1977	貝塚
	平松哲也	久米設計	1979	貝塚
	鈴木啓太郎	戸田建設	1982	篠原
	稻田朝夫	須賀工業	1986	坂上
	中谷豊	I N A 新建築研究所	1992	貝塚
会計監事	中山志メ松	日本設計	1965	篠原
	遠山衛	ピーエーシー	1976	篠原
事務局長	森下剛	明治大学	1982	坂上

平成9年4月23日の第1回役員会において富田新会長より『水曜会のさらなる発展を目指し、会則の抜本的見直し、会費の徴収、会員交流行事の開催』という基本方針が採択されました。この基本方針により以下の4つの委員会が発足し、新たな水曜会のために活動することになりました。会員皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

事業計画

副会長

五十嵐信継

委員会名	委員	内 容
会則改定	平川 五十嵐 森	現会則の抜本的な見直しを行い、本会の基礎固めを行なう。 平成10年1月14日の総会にて中間報告、平成11年6月の総会にて承認を受ける予定。
会報発行	須藤 遠尾 山崎 中谷	年1回発行し、会員の交流の場とする。 第1回として平成10年1月の総会案内に添付できるよう(発送平成9年12月上旬の予定)作業に入る。
研究会実行	高地 木治 嘉平 稻田	見学会、講演会等の計画・立案を行なう。
親睦会実行	沼平 横田 中山	ゴルフ、ボーリング等のイベントを通して親睦を計る。 本年度は有志により10月29日にゴルフコンペを開催。



水曜会の設立はいつですか。
と聞かれて昭和48年10月4日
と答えています。

しかし、ときどき会をつくろうと集まつた最初の日なのかも知れないと思うときもあります。もし、この日が正しいとしても、当時の資料などあるはずもなく、記憶なども不明確であり、会の設立年月日は不明なのです、とお話しすることがよいと思っています。

昭和32年頃から昭和35年にかけて、明治大学でも校舎等の建設が盛んに行われたのであります。この建設工事に、私も篠原先生の関係もありまして設計監理者として従事させていただいたのです。建設されたものは、駿河台6・7号館、駿河台図書館本館、和泉大教室、和泉学生会館等であります。これらの建築設計は堀口捨巳先生であります。建築設備設計は篠原隆政先生、電気設備設計は仁平幸治先生で、学内の先生方による設計

ことのはじまり



北島 敬造

1956年卒、元水曜会会長

でありました。

この建設のこともあるってか、日に日に、篠原研究室へお見え下さる方々が多くなってまいりました。この頃、篠原先生を開む会をつくりませんかと、篠原研のOBの方々などからお話しが篠原先生にもあったようです。私も以前から、会のことについて考えていたこともあります、早速お話しをすすめることにしました。そして、OBの方々

と何度かお会いしていました。ところが突然「篠原先生の会、いつできたんだ」と。「会はまだできていません」とお話したのですが、このことが「会が出来た」と、人から人へと伝わって行つたのです。否定も否定されても肯定へと変わってしまうのです。その後、「会のことだけ、よく言われていないよ」とおしゃて下さる人まで現われたのです。「会で、何をやるんだ」、「よ

くわからないけど、あのわるには気をつけろ」と。いつのまにか悪者になっていたのです。

「会はまだ出来ていないんだ」と言うと、「会は出来た」と伝わるのです。この様な不思議なことが人間社会以外でも存在しているのでしょうか。

あれから10数年。昭和48年10月1日、篠原隆政先生教授就任の朗報が入って来ました。

昭和48年10月4日、会の設立に以前から賛同して下さっている方に、私の事務所にお集りいただき、さっそく、会議に入り「本会の設立」を決定し、続いて、会の名称を「水曜会」としたい旨の発言をいたしましたところ幸いにも全員の賛成をいただいたのであります。「水曜会」の名は、私が前から考えていたものであります。

昭和43年春頃、仕事のことでの渡辺要先生のお供をいたして、お酒をいただいていた時のことです。突然、渡辺先生が「会の

名前、出来たの……」と言われたのです。私は、おどろいたのです。渡辺先生の中にはすでに本会が存在していたのです。私は「某大学の同窓会で『木曜(葉)会』と言うのがあります、ちょっと大人げなくて、気に入っていますが、同じ名前というわ

けにもいきませんので、いろいろ考へまして、木曜日の前日の水曜日をいただいて『水曜会』にしようと思っています」とお話しすると、先生にこにこしながら『『水曜会』いい名前だね、うん、いい名だ』と繰返し言って下さったのです。

「水曜会」の最初の事業は篠原隆政先生の教授就任祝賀会であります。

その後、本会は、会員名簿の発行、研究会、親睦会(忘年会等)などを行っております。

水曜会25年。本会が21世紀へ向けて、新しい展開を求められ

ている時、会報発行事業に着手されたことは、高く評価され、期待されるものと思います。

今後、会報の役割は大きく、全会員の手のとどく情報交流のステージとして、利用されていくことを願っております。

建築環境工学研究室

担当教授 松尾 陽

M・2 竹田佳香(東京ガス)
M・1 田川裕一
ゼミ生 小川深志(鹿島建設)
仁科昭彦(コクヨ)
宮地淳也(ミサワホーム)
稻葉裕教(静岡ガス)

鈴木香織(三井ホーム)
古田智之(積水ハウス)
村田泰隆(大学院)
森建二郎(タチカワブラインド)
寺田匡史(太平エンジニアリング)
永尾朋子(法務省)

卒業論文テーマ

1. 热伝達率に関する実験的研究 その1

これまで当研究室が行ってきた建物外表面対流熱伝達率実測の継続で、前年度で測定方法の基礎が固まつたので、長期的計測の段階に入る。

2. 热伝達率に関する実験的研究 その2

その1の測定方法を室内壁の対流熱伝達率の研究に応

用する。

3. 热伝達率に関する実験的研究 その3

その1の測定方法には、若干問題が残されているので、測定装置の改良を試みる。

4. 住宅の環境性能の実測と分析

実物の住宅(社会)を分析対象として、断熱、換気等の性能の実態を測定で把握し分析する。(鹿島建設技術研究所共同研究)

5. 市街地気候の研究

その1(都市の外表面性状)

東京地域では都市から郊外にかけて10数地点でメタガス気象観測が行われているので、このデーター入手して分析し、都市気候変化の実態と特徴を明らかにする。

6. 市街地気候の研究

その2(都市の外表面性状)

上記気候変化の原因として、都市の表面から立体化してきたこと、表面の物質が土からコンクリートに変わったことなどがある。既存のデーター(国土地理院、東京都など)の数値情報データベースの分析とフィールド調査を併せて、その実態を調査する。

7. 窓の形と日射熱量関係

窓から入ってくる日射熱は

パッシブソーラーハウスの熱源であり、冷房負荷の主要原因でもある。建設の窓まわりの詳細と日射熱取得について、精密に解析するアルゴリズムを開発し、電算プログラムを作成する。

8. 室内気流と数値解析

当研究室と加治屋研究室が長年行っている研究テーマで、空気流動の基礎法程式を、スーパー・コンなどを使って数値解析する。

9. 住生活様式とエネルギー消費に関する研究

地球温暖化防止のために、住宅の消費エネルギーが急務となっている。その1つとして住宅での生活実態とエネルギー消費の関係について①アンケートによる調査、②住宅エネルギー解析ソフト“BELMAP”によるケーススタディ、を行う。

建築設備研究室

担当教授 坂上恭助

本研究室は、故篠原教授が創設された「建築設備研究室」を継承したかたちで、名称をそのまま用いている。

研究のテーマは、人にとって必要不可欠な水をどう供給し、いかに処理して、自然に帰すべきか主題に、給排水衛生設備を主軸とし、地球・都市の水環境・水利用から建物内の水環境・設備、人の使用まで、水関連問題を幅広く取上げてきた。そこでは、さまざまな実態調査、設備システムの設計法(耐震を含む)、配管・機器等の流体現象の解析、人の排泄生理、設備の歴史、アジア諸国の水環境・給排

水衛生設備の現状分析などを継続して検討してきた。

1997年度の研究室構成は、大学院生(修士)が2名、ゼミ生が11名(うち女性2名)であり、近年のゼミのなかでは、ややおとなしいとの感がある。

本年度の卒業テーマは、
①アジア諸国の水環境調査
②駅舎トイレ利用の実態解析
③水道水温の予測手法
④温排水熱利用のための実態調査
⑤超高層排水システムの管内圧力予測手法
⑥洗剤排水試験法の開発
⑦トラップ封水強度試験方法の開発である。

建設環境デザイン研究室

(4303A室)

専任講師 加治屋亮一

1997年度ゼミ生(予定就職先)

中村好孝(明大大学院)、新橋史郎(旭化成ホームズ)、塚本将朗(新菱冷熱工業)、佐野貴彦(静岡県庁)、谷田伸介(三井ホーム)、高橋亮洋(東京都or川崎市)

1997年度卒論テーマ

1. 可動ノズルの吹き出し気流特性と空気分布性状の実大実験および数値シミュレーション—実大実験および数値シミュレーションは新菱冷熱工業(株)つくば技術研究所で行っている。

2. 同上実験の10分の1模型による可視化と測定実験—当研究室の可視化はアルゴンイオンレーザーの光幕とトレーサーとして主にバブルを使用している。

3. 5分の1室内模型を用いた各種(床、壁側、天井)放射暖房室内における温度分布の測定と可視化—光源は同上、トレーサーは炭酸マグネシウム。

4. 同上模型実験と同一条件における数値シミュレーション。

会報委員会からのお知らせ

「会報委員の募集」会報委員会では委員を募集しています。

編集や文章を書くのが好きな方、イラスト得意な方、是非会報委員になつて活躍して下さい。

「会報タイトルのデザイン募集」会報のタイトルは、とりあえず活字を使用しました。これでは味気ないと思われるあなた、デザインをお寄せ下さい。

「原稿の募集」次回以降に載せる原稿を募集しています。今、自分の考えていること、地方でのOB会の活動状況、会員へのお知らせ等、題材は、自由です。八百字程度以内でお寄せ下さい。

以上、送り先は森下事務局長(明治大学管財部施設課)まで。「ホームページアドレスの 알려せ」水曜会事務局は現在、加治屋研究室内に置かれています。加治屋研究室のホームページは建築学科のホームページ経由で開くことができます。レスは左記のとおりです。情報のやり取りにご利用下さい。

<http://www.isc.meiji.ac.jp/>

1998年1月14日

arch

水曜会ゴルフコンペ

第1回水曜会ゴルフコンペ開催

11月29日(水曜日)埼玉県の入

間カントリー倶楽部で20名(5組)の参加者で秋晴れの中、日頃の腕を競い先輩と後輩が和気あいあいと語りながらプレーを楽しみました。競技は新ペリア方式で行い成績順位を決めました。

優勝 横田宗卓 (INA新建築会友)

準優勝 酒井克衛 (三井建設 S39)

3位 丹澤元久 (総合設備計画 S35)

尚、ベスグロ賞は横田宗卓、平川清(ピーエーシーS41)様が86でした。今回は第1回でしたので、参加メンバーは今までの役員等で行いましたが、次回は多数の参加を希望しています。(記) 横田輝正 横川建築設計 S39



会費振込のお願い

一時期は、総会の出席者から、懇親会費に上乗せをした形で会費を集めたこともありました。しかし、本会の目的達成及び事業活動のためには、ある程度の安定した財源が必要です。経済的なご負担をおかけすることになりますが、会費納入に、ご理解とご協力をお願い申しあげます。会費納入には、同封の郵便振込用紙をご利用下さい。また、一月中にお振込みいただければ幸いに存じます。

また、誠にお手数ですが払込人住所氏名の欄に卒業年月、研究室名もご記入下さい。

◆年会費

会員・会友 2000円
学生会員 1000円

◆振込先

口座番号 00190=0=413602
加入者名 明治大学水曜会

◆問合せ 事務局長 森下剛

水曜会会員名簿を、皆様のご

郵便振替

まだ、お振込みをされていない
方は早々にお振込み下さるよう
よろしくお願ひいたします。

口座番号: 001-60-4

106266

創刊にあたつて

副会長

須藤俊彦

報はあくまでも会員の皆様に作つてもうものと捉えております。会員皆様からのご意見や、旅行にいらつしやつての随筆など、簡単なもので結構でござりますので、どしどし、ご投稿していただき、水曜会での意見交換や交流の場となれば、幸甚であります。毎年総会、懇親会が開かれ、数多くの方にご出席いたしておりますが、地方の方、あるいは建設業界以外の方のご出席が少ないので現状でございます。新しい役員会の中で、総会、懇親会にご出席できなかつた方との意見交換、水曜会の現状などを理解していただく方法を考えようとのことで、今年度より会報を発行することとしたしました。

今後、内容を充実させ、水曜会での出来事、皆様の興味をお持ちになるような記事を順次掲載したいと思っております。会

第一号に投稿していただいた方には、お忙しいなか突然のご依頼でご迷惑をお掛けいたしましたが、無事に発行することができました。紙面をお借りしてお礼を述べさせていただきます。

ありがとうございました。